

作業計画書の作成方法 ～コンクリートポンプ車～

 **OKUMURA CORPORATION**

2024年11月版

この動画では、コンクリートポンプ車の作業計画書作成方法を説明いたします。

【作業計画書作成の流れ】

②

作業計画書 コンクリートポンプ車

①

③

④

別紙参照

作業計画書作成の流れ

①左ページの必要事項の記入と作業計画図の作成（協力会社）

②工事所審査・工事所長承認（元請）

③右ページの工事所の計画指導事項を確認の上、受領（協力会社）

④コピーして、関係者に周知・サインの上、保管（協力会社）

【作成時に準備しておくもの】

- 作業計画書記入用紙（紙、Excelデータ等）
- コンクリートポンプ車の性能が分かる資料（カタログ等）
- 作業場所の状況が分かる平面図（縮尺は1:100を基本）

※奥村組 H P（協力会社の皆様へ）⇒安全に関するお知らせ
⇒【安全書類】からダウンロード可能

【作業計画書作成の流れ】

①左ページの必要事項の記入と作業計画図の作成（協力会社）

②工事所審査・工事所長承認（元請）

③右ページの工事所の計画指導事項を確認の上、受領（協力会社）

④コピーして、関係者に周知・サインの上、保管（協力会社）

【作成時に準備しておくもの】

- 作業計画書記入用紙（紙、Excelデータ等）
 - コンクリートポンプ車の性能が分かる資料（カタログ等）
 - 作業場所の状況が分かる平面図（縮尺は1:100を基本）
- ※奥村組 H P（協力会社の皆様へ）⇒安全に関するお知らせ
⇒【安全書類】からダウンロード可能

まず最初に作業計画書を作成するときの流れを説明します。

①協力会社のみなさんは、左ページに必要事項を記入、作業計画図を作成してください。完了したら、工事所職員に渡してください。

②工事所職員が内容を確認、審査のうえ、問題がなければ承認します。

③工事所から作業計画書が戻ってきたら、左ページ上部の欄に受領日を記入し、提出時に記入した安全衛生責任者の右横に押印またはサインしてください。

④作業計画書の内容は、関係者に周知し、コピーにサインのうえ保管してください。本書は元請けに渡してください。

作成する際には、次のものを準備してください。作業計画書の記入用紙。使用するコンクリートポンプ車の性能が分かる資料。作業場所の状況、縮尺が分かる平面図が必要です。手元にない場合はご自身の会社もしくは工事所に問い合わせてください。

【作業名称等について】

作業計画書 コンクリートポンプ車

作業名称	コンクリート打設		提出日	2024 年 5 月 17 日
一次協力会社	大山建設 株式会社	安全衛生責任者	鈴木 四郎	承認計画書受領日
(3)次協力会社	池袋匠送 株式会社	安全衛生責任者	新宿 五郎	元請け承認後に記入
作業年月日	2024 年 5 月 22 日 ~ 2024 年 5 月 25 日			

同様の作業が続く場合でも、作業年月日は概ね1ヵ月程度の期間としてください。
また、作業計画書は、作業内容が変わる毎に作成してください。

作業名称などについて、項目に従って記入してください。

作業年月日の項目欄ですが、同様の作業が続く場合でも、作業年月日は概ね1ヵ月程度の期間としてください。また、作業計画書は作業内容が変わる毎に作成してください。

承認計画書受領日は、元請け承認後に記入してください。

【コンクリートポンプ車について】

使用機械①	打設場所	A棟 躯体		
	打設数量	120 m ³		
	圧送距離	垂直(V): 20 m、水平(H): 36 m		
	使用機械規格・能力	機 種: PY140-36A(9B仕様)	吐出量:	圧送距離:
		ブーム車・配管車 10 t	99(高圧) m ³ /h・垂直(V) - m・水平(H) - m	
	機械転倒防止措置	アウトリガー張出全長(前): 7.6 m (最大・中間・その他)		
		アウトリガー張出全長(後): 7.8 m (最大・中間・その他)		
作業員の配置及び指揮系統		会 社 名	氏 名	資 格
	作業指揮者	池袋匠送映	新宿 五郎	事業者による指名・選任等
	装置操作者	"	葛葉 良助	特別教育修了者
	誘 導 者	㈱サンエー	横田八郎	
	合 図 者	"	巢鴨九郎	

コンクリートポンプ車の装置を扱う作業員は
必ず「特別教育修了者」を配置してください。

コンクリートポンプ車の性能や作業員の配置などについて、項目に従って記入してください。装置操作者は、必ず「特別教育修了者」を配置してください。

【コンクリートポンプ車について】

使用機械①	打設場所	A棟 躯体		
	打設数量	120 m ³		
	圧送距離	垂直(V): 20 m、水平(H): 36 m		
	使用機械規格・能力	機種: PY140-36A(9B仕様)	吐出量: 99(高圧) m ³ /h	圧送距離: 垂直(V) - m、水平(H) - m
	機械転倒防止措置	アウトリガー張出全長(前): 7.6 m (最大・中間・その他) アウトリガー張出全長(後): 7.8 m (最大・中間・その他)		
	作業員の配置及び指揮系統	会社名	氏名	資格
		作業指揮者	池袋庄送様	新宿 五郎 事業者による指名・選任等
		装置操作者	"	葛葉 良助 特別教育修了者
		誘導者	(株)サンエー	横田 八郎
		合図者	"	巢鴨 九郎

カタログ抜粋

■ 主要諸元

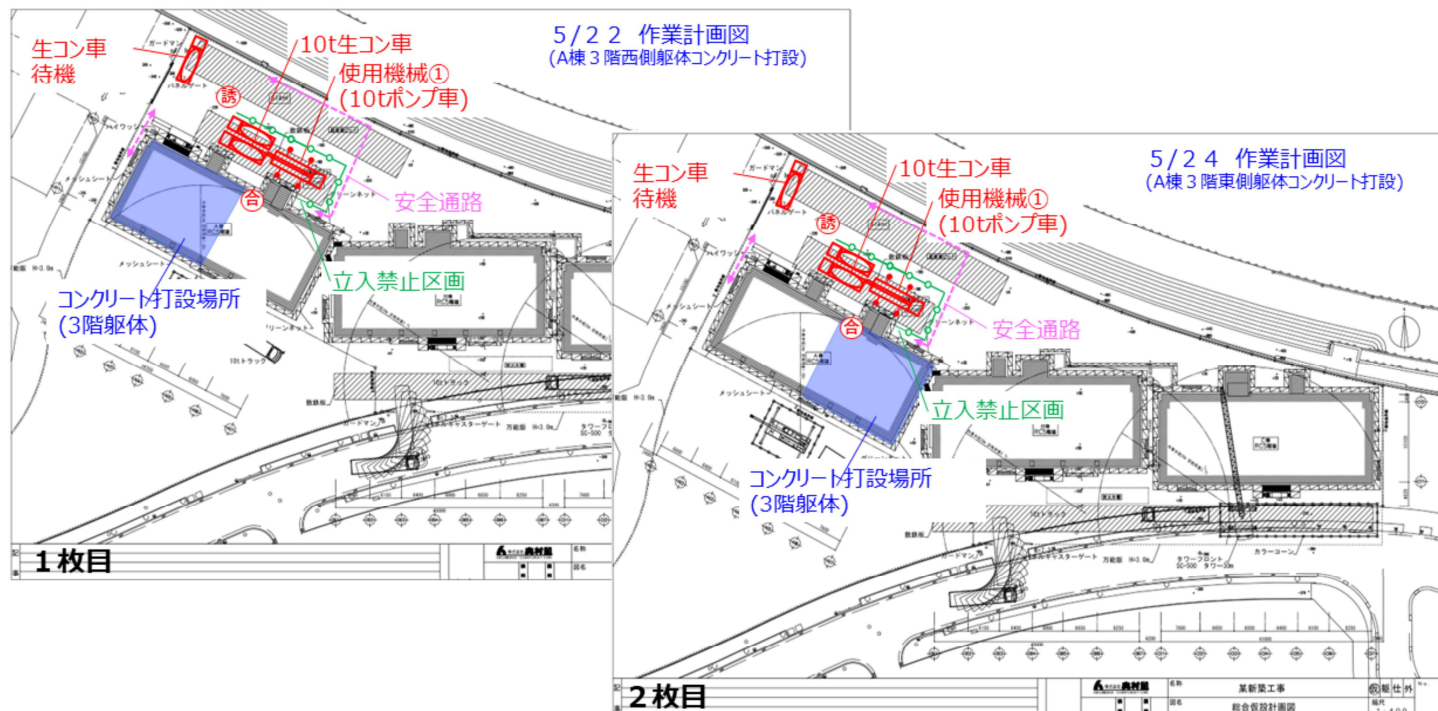
		機種	
		PY140-36A	
		8B仕様	9B仕様
性能	最大吐出量 (吐出量×吐出圧力)	114m ³ /h×6.0MPa	138m ³ /h×4.9MPa
	標準圧送 高圧圧送	82m ³ /h×8.5MPa	99m ³ /h×7.0MPa
吐出量	残圧吐出方式	水洗	
	最大骨材寸法	40mm	
ポンプ本体	コンクリートシリンドラ数	2	
	シリンドラ径×ストローク	φ205×2,100mm	φ225×2,100mm
ホッパ	容積	0.5m ³	
	地上高 [※]	約1,250mm	
水ポンプ	水タンク容量	490L	
	形式	複動ピストン式	
配管洗浄時	最大吐出量	60m ³ /h	
	最大吐出圧力	8.0/6.6MPa	
車体洗浄時	最大吐出量	54L/min	
	最大吐出圧力	7.0/5.8MPa	
ブーム形式	ブーム形式	全油圧4段屈折式	
	最大長さ	32.1m	
ブーム	最大地上高	35.6m	
	旋回角度	370°限定旋回	
アウトリ	操作方式	電磁油圧式(手動・リモコン両用)	
	コンクリート輸送管径	125A	
アシスト	形式	スライド・ジャッキ油圧式	
	フロント張出スパン	7,600mm	
アウトリ	リヤ張出スパン	7,800mm	
	アシスト	78kN (8t)	
その他	操作方式	PLCコントロールパネル	
	架装シャシ	GVW25t級	
車両全長 [※]	車両全長 [※]	約11,940mm	
	車両全幅 [※]	約2,490mm	
車両全高 [※]	車両全高 [※]	約3,600mm	
	乗員	3名	
車両総重量 [※]	車両総重量 [※]	約24,990kg	

※架装シャシにより異なります。

OKUMURA CORPORATION

使用機械の規格や性能についてはカタログなどを参照してください。
機種、吐出量、アウトリガー最大張り出し寸法などは、主要諸元の表にまとめて記載されていることがほとんどです。

【作業計画図について】



日によって、打設場所や機械設置位置が変わる場合は、作業日ごとの作業計画図を作成してください。

玉掛者：(玉) 監視人：(監)

監視人：監

安全通路： ← - - - - - →

立入禁止区画： 

安全通路： ← — — — — — 安全通路

立入禁止区画： 

作業半径
15.0m

—10tポンプ車

10t生コン車

残土

90tクローラークレーン

0.7BH—

10tダンプ車

高所作業車

仕事名	阿宮野村自治住宅工事				
事業員	山田	担当	芝	小坂	承認日
計画開始年	2024 年 5 月 20 日				

提出された作業計画について、次のように指導します。計画内容を関係作業員に周知した後、作業を行ってください。

作業終了後現場の地味、地質の状況等を調査し、その配座に基づき対策を。

転倒、転落および土の落下や崩落の危険があるときは、作業禁止の決定、転落の危険等の措置を。

転倒、転落の危険があるときは、誘導帯を設置する。

作業条件	1) 転落危険等対策方法		① 誘導帯に誘導（アンダー・ヒールでよい） ② 誘導帯を巻いて誘導、固定 ③ 作業許可書提出し、手すり等を設置、誘導、引き出しに付ける ④ 必要に応じて転落危険等対策フックに誘導帯を固定（巻留、巻止連結） ⑤ 土の落下
	2) 掘削軌道（掘削作業経路）	① 必要	地盤・地質等（地山・壁土・敷石）
	3) 誘導、合図の方法	① 必要	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
	4) 障害物の排除・措置	① 必要	加圧機、誘導機、その他
	5) 転落（転落等）	① 必要	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
	6) 土の落下	① 必要	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
	7) 誘導機使用時	① 必要	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
8) 第三者対策	① 必要	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	

＜作業員準備事項＞

① 作業現場の整理を行う。

② ツープール（作業員等の作業開始前点検を行う）、（ブレーキ、クランプ、警報・安全試験等）

③ 定期点検（月次・年次等）を実施し記録簿に報告する。（④ 作業現場の記録は、記録3年保持）

＜作業開始前点検事項＞

① エンジン車などの位置に前後後、アウトラバーは最大値出し状態（前後後）で使用する。必要に応じて、敷材を置いて機体と車体に設置する。バックラップボンプ等の設置は、記入票を添付する。

② 転倒等の防止・対策を行う。また、作業開始前点検を行い、転倒防止対策を定め、点検記録帳に記入する。

③ 転倒及びアウトラバーは、必ず点検を行い使用し、また作業用設備等に衝突し転倒及び破損を防止する。

④ 作業開始前点検とコースの見直しを確保するとともに、作業の記録と、安全確保及び一定の合図を定め、手配、無線等で連絡する。

⑤ 指示の動作を吐出し、その危険がある場所には作業員を立ち入らせない。

⑥ アウトラバーには作業員を立ち入らせない。

⑦ 転倒防止の転倒防止等の危険防止の取組を行う。転倒においては、内圧を減圧する等の措置を。

⑧ 指示作業終了時の転倒防止の点検作業には、転倒防止の点検に必ず乗ることを厳格に行う。

⑨ 運搬使用許可書を作成し、通行者・車の安全確保に必要となる情報（記入票と、後援票と、誘導員情報）を行う。

＜その他＞

作成完了

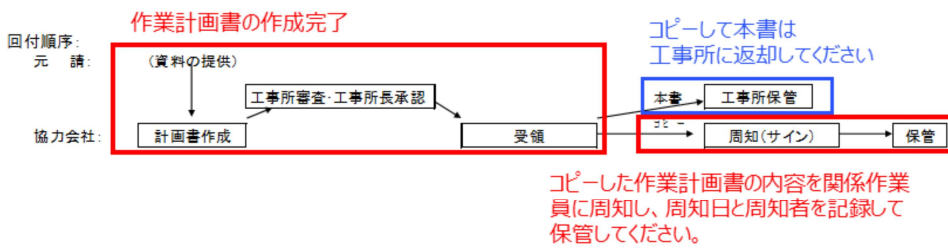
別卷参照

作業計画書 コンクリートポンプ車

作業名称	コンクリート打設			提出日	2024 年	5 月	17 日
一次協力会社	大山建設 株式会社	安全衛生責任者	鈴木 四郎	印又はサイン	承認計画書受領日		
(3)次協力会社	池袋圧送 株式会社	安全衛生責任者	新宿 五郎	新宿	5/21		
作業年月日	2024 年	5 月	22 日	～	2024 年	5 月	25 日

これで、作業計画書の作成は完了となります。

【関係作業員への周知について】




周知日	5/22	5/29	6/12	
周知者 (サイン)	鈴勝 福亀 宮栗 佐太 木広 村宮 富岡 下本 藤田 部島	久森 高 保下 木	木山 穂 村崎 藤	...

計画内容を関係作業員に必ず周知してから作業を行ってください
作業員が交代した際も、必ず計画内容の周知を行い、記録を残してください

作成完了後、作業計画書をコピーしてください。本書は工事所に返却してください。

コピーした作業計画書の内容、右ページの指導事項等を確認して、作業を開始するまでに、必ず関係者に周知してください。

周知が完了したら、右ページ下の欄に周知日を記入し、周知対象者に必ずサインをもらうようにしてください。

作業員の方が交代した場合も、作業計画書の内容を都度周知し、周知した記録を残してください。



以上で説明を終わります。